

6 - 21 地殻活動総合観測線による観測結果（暫定値）  
（1994年5月1日～1994年10月31日）

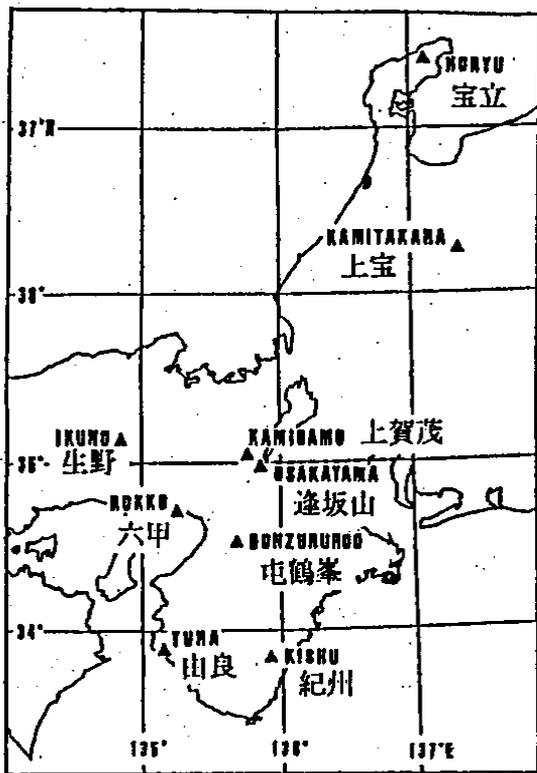
**Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District  
(Tentative Values) (May 1994-October 1994)**

京都大学防災研究所

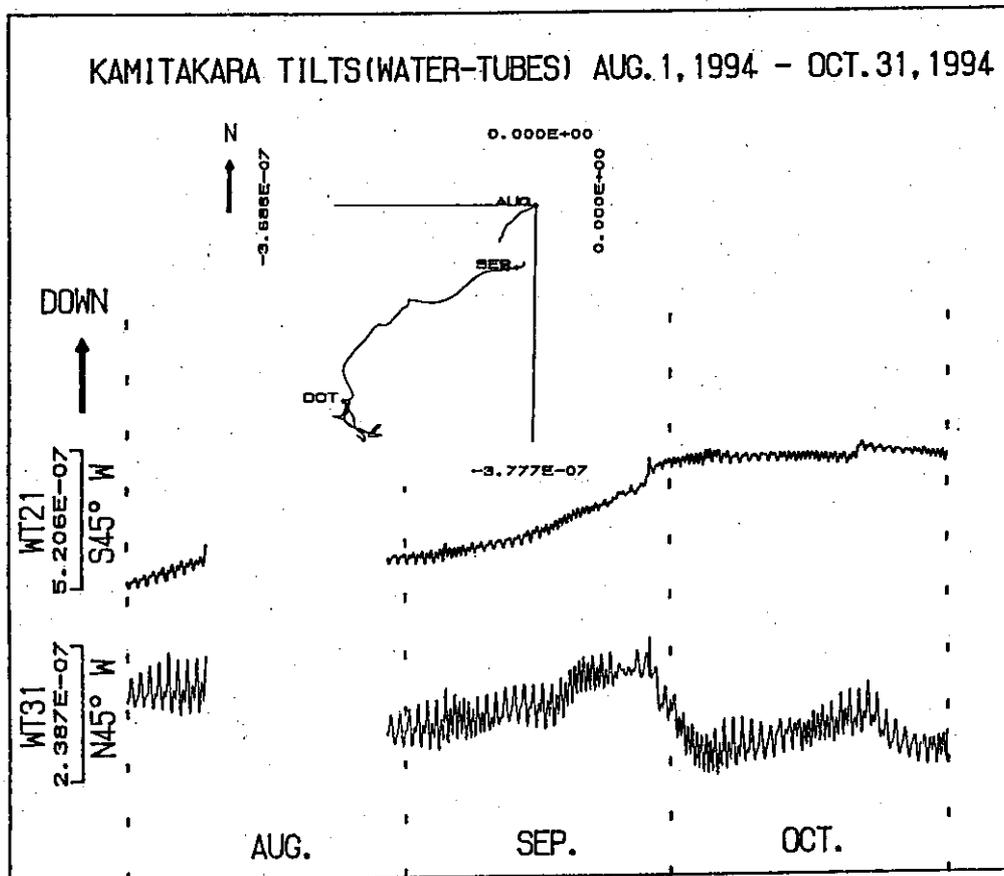
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

北陸近畿および近畿山陰両観測線のうちから，第1図に示す上宝，宝立，逢坂山，上賀茂，屯鶴峯，由良，生野，六甲鶴甲および紀州の9観測点における主な観測項目について，1994年5月1日から1994年10月31日までの6ヶ月間の観測結果を示す。紀州には3台の水管傾斜計を設置しているが，第7図の紀州の水管傾斜計についてのベクトル表示は， $N89^{\circ}E$ と $N129^{\circ}E$ 方向の2成分の結果から合成したものである。第2図から第9図までのそれぞれの時間変化のグラフは，成分毎に縦軸のスケールが異なること，傾斜のベクトル表示図もスケールが図によって異なっていることに注意されたい。また，水平な直線となっている部分は欠測を示している。

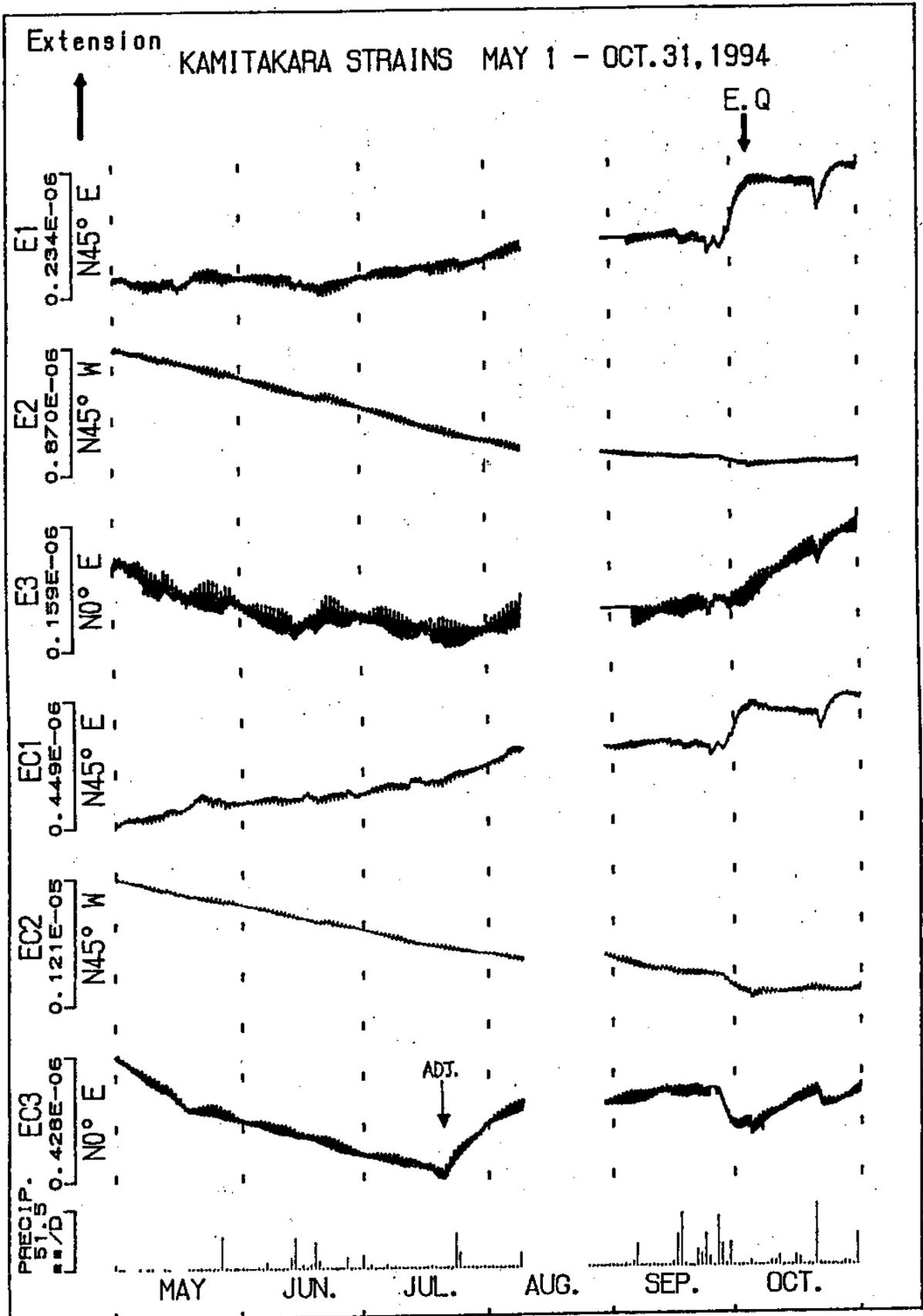
1994年5月1日から1994年10月31日までの6ヶ月間において，どの観測項目についても，年周変化，降雨にともなって通常現われる変化，入坑調整などの際の人為的な擾乱を除いて，特筆すべき異常は認められない。



第1図 位置図  
Fig. 1 Observation stations.

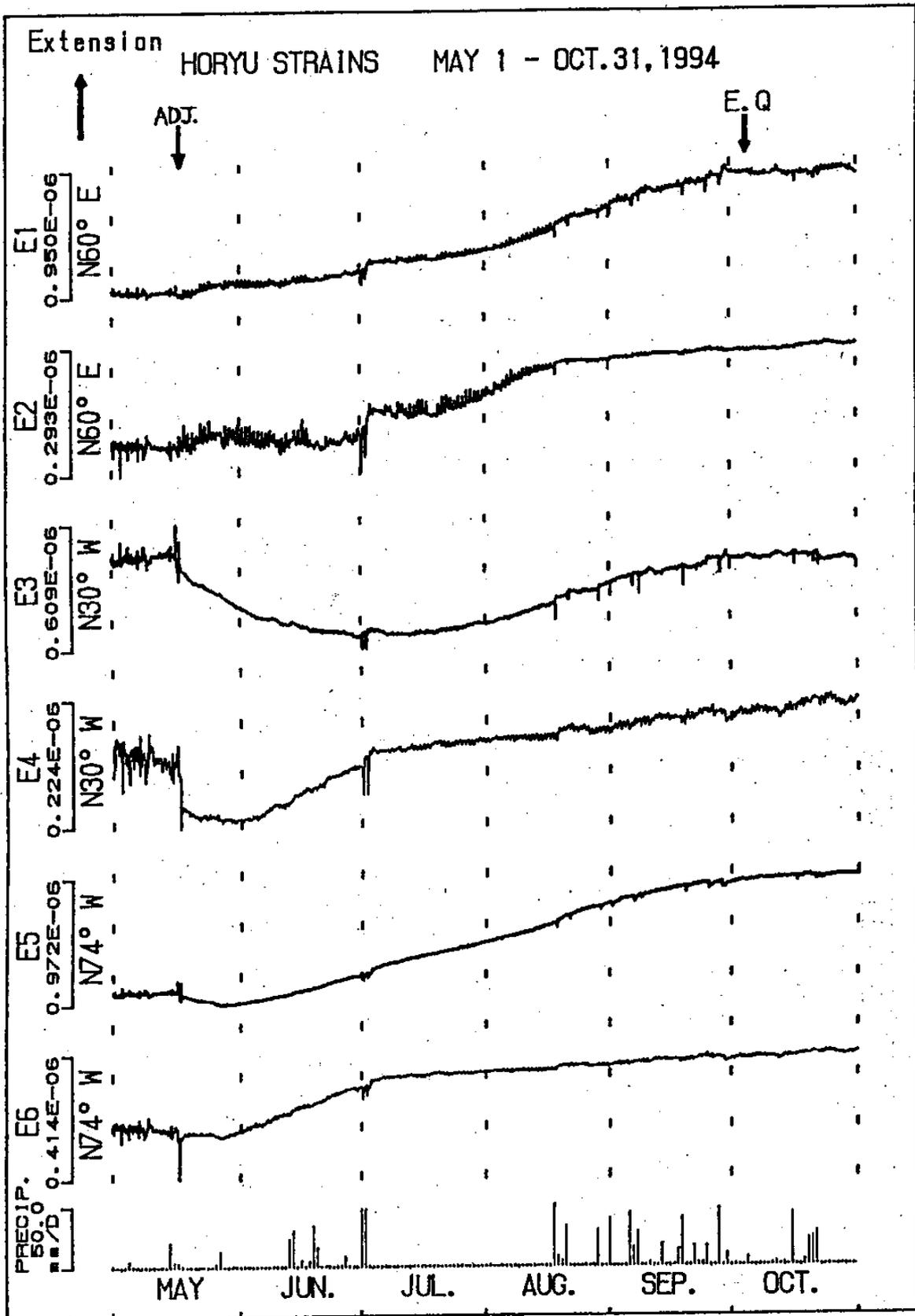


第2図 上宝における傾斜変化 (1994年8月から10月まで)  
Fig. 2 Tilt changes at Kamitakara (August-October 1994).



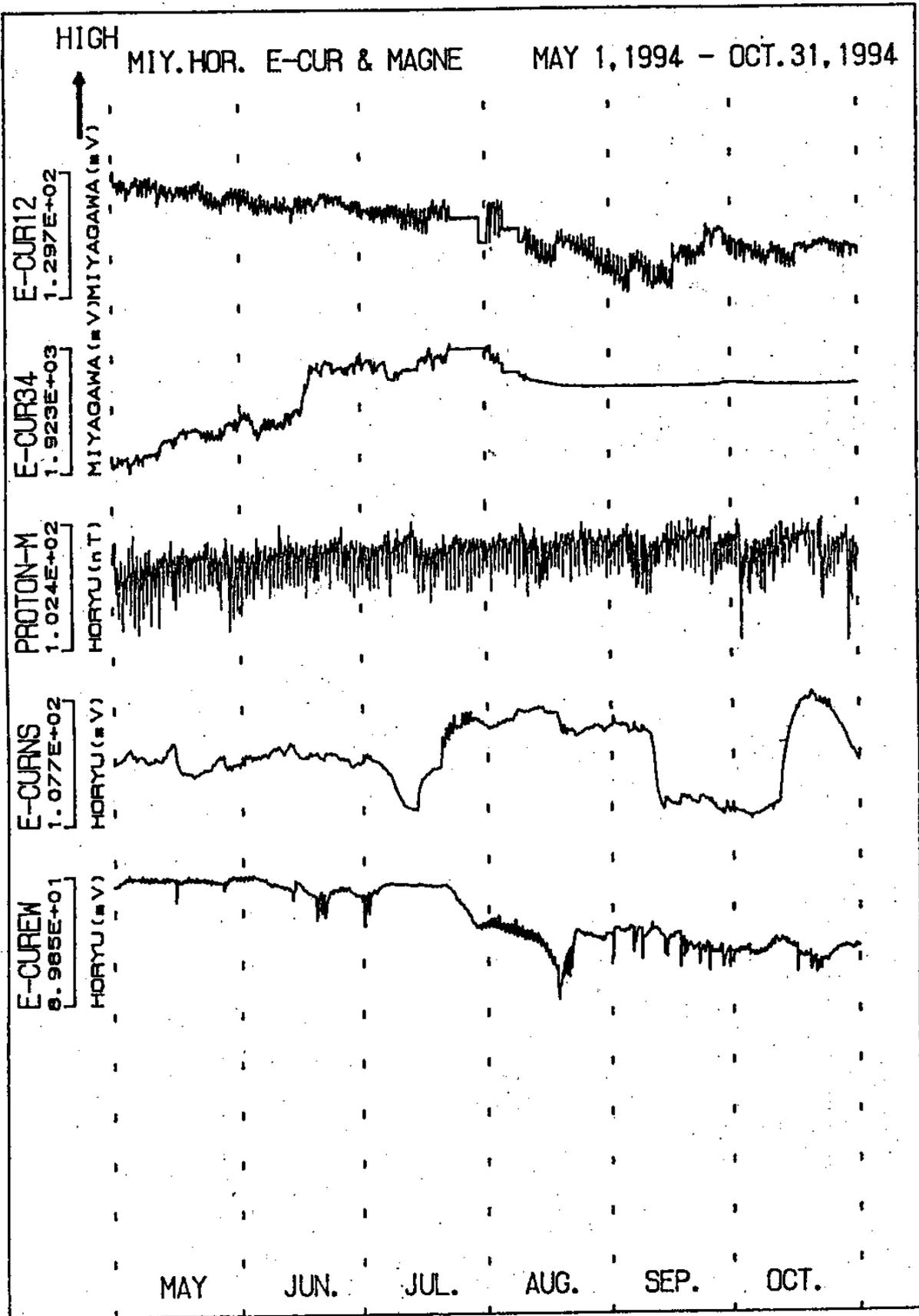
第3図 上宝におけるひずみ変化

Fig. 3 Strain changes at Kamitakara.



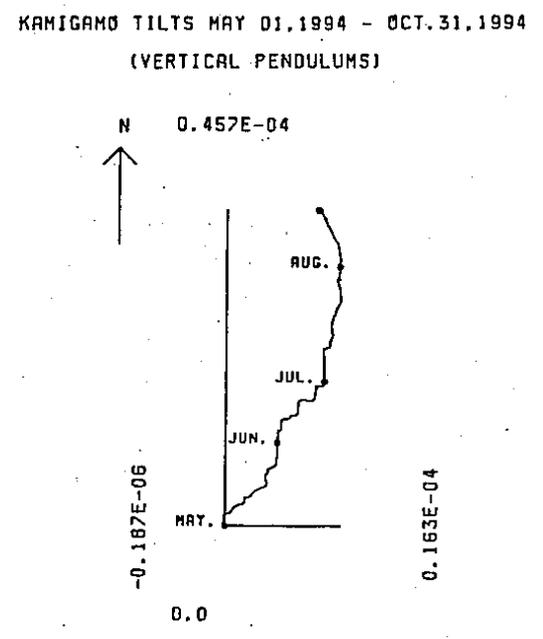
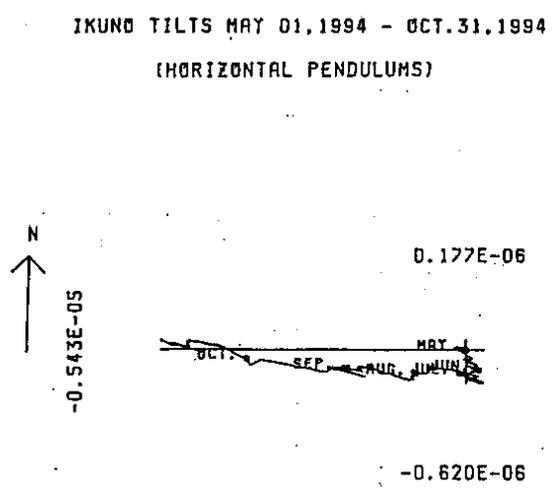
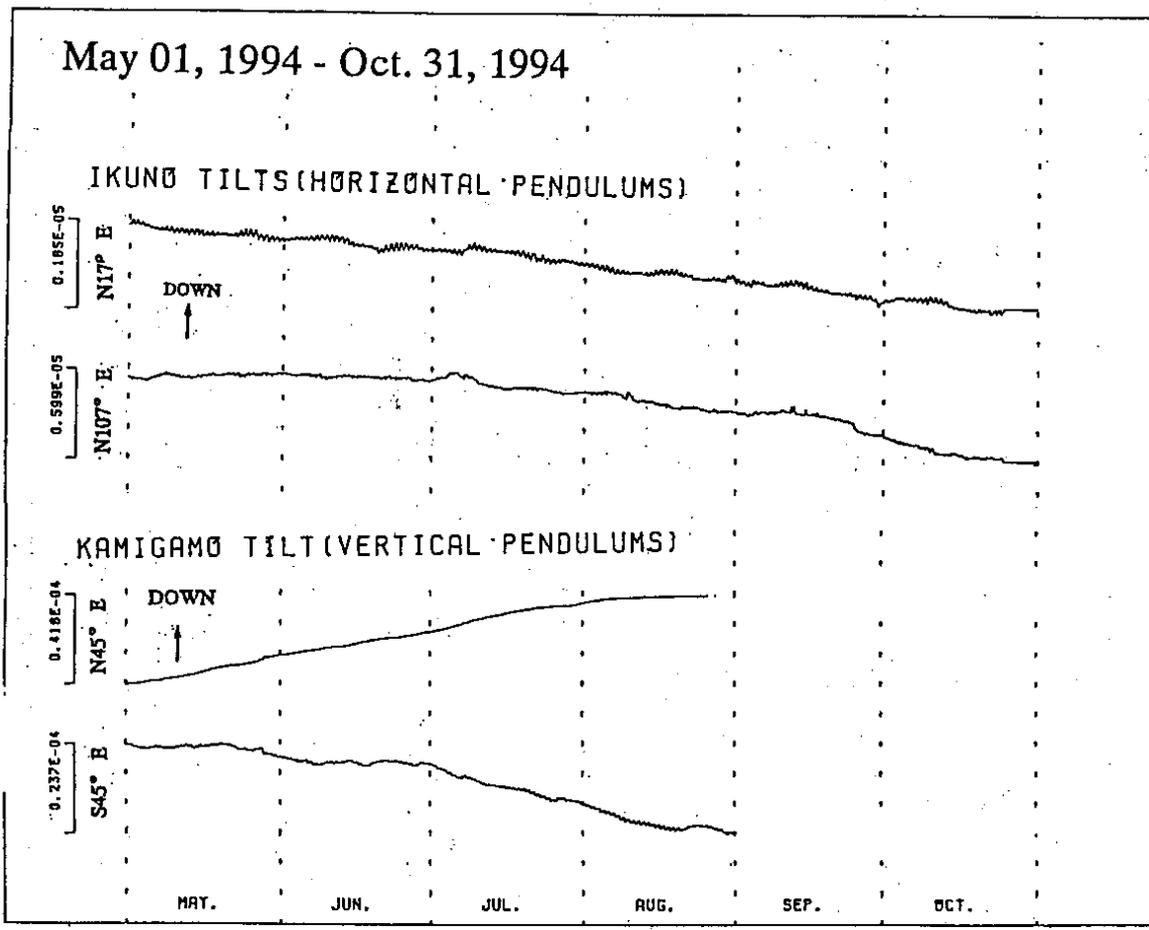
第4図 宝立におけるひずみ変化

Fig. 4 Strain changes at Horyu.

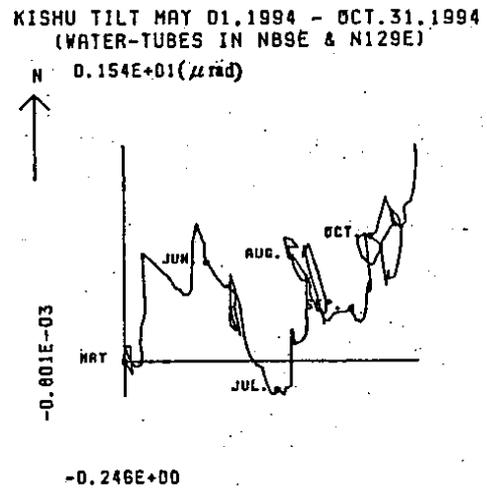
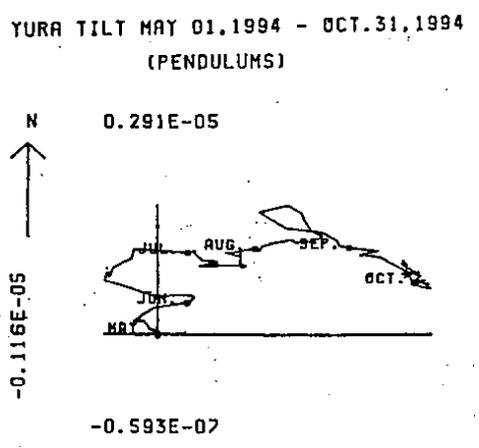
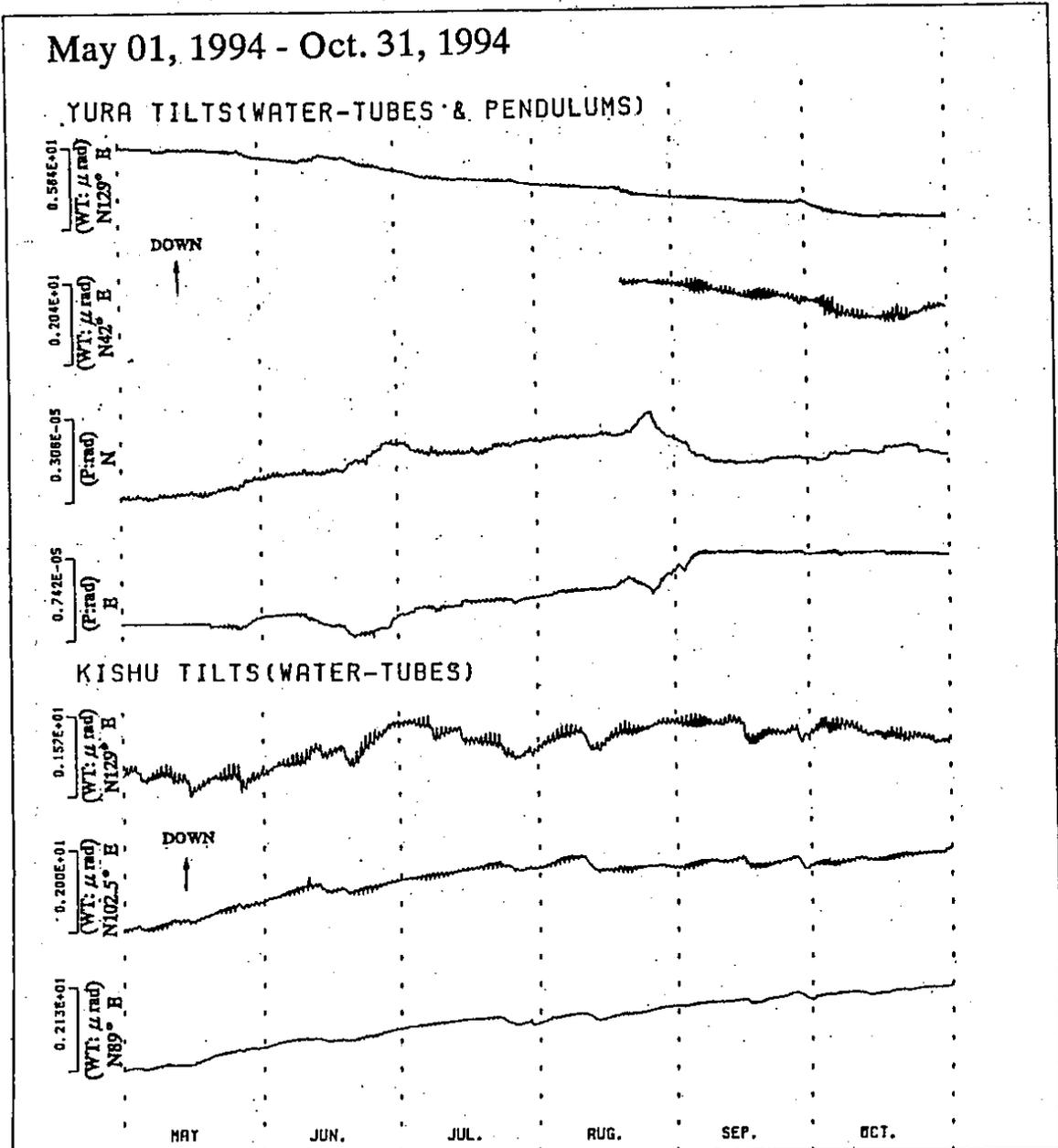


第5図 宮川および宝立における地電位差および全磁力変化

Fig. 5 Changes of the earth's electric potential and totalgeomagnetic force at Miyagawa and Horyu.

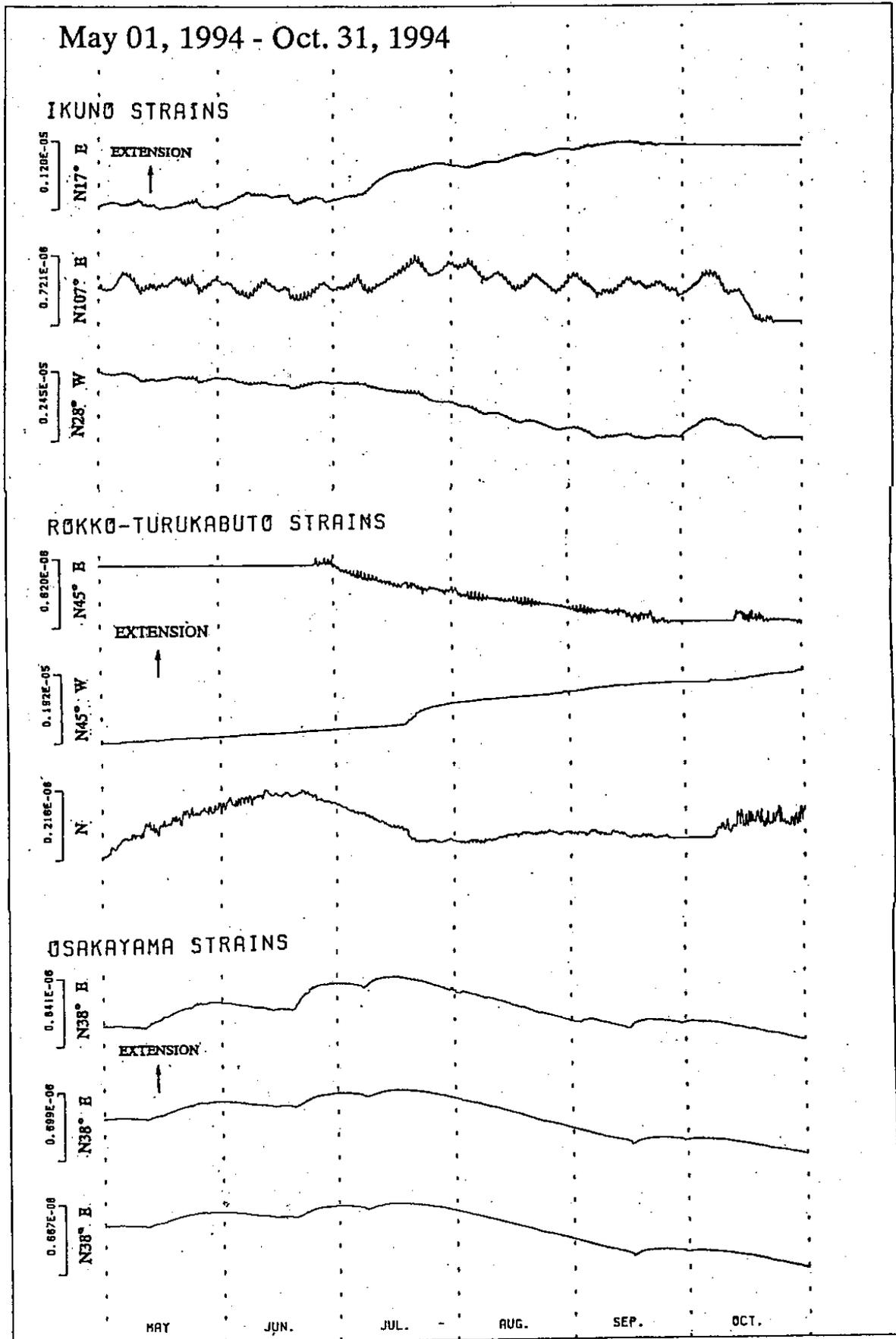


第6図 生野および上賀茂における傾斜変化  
Fig. 6 Tilt changes at Ikuno and Kamigamo.



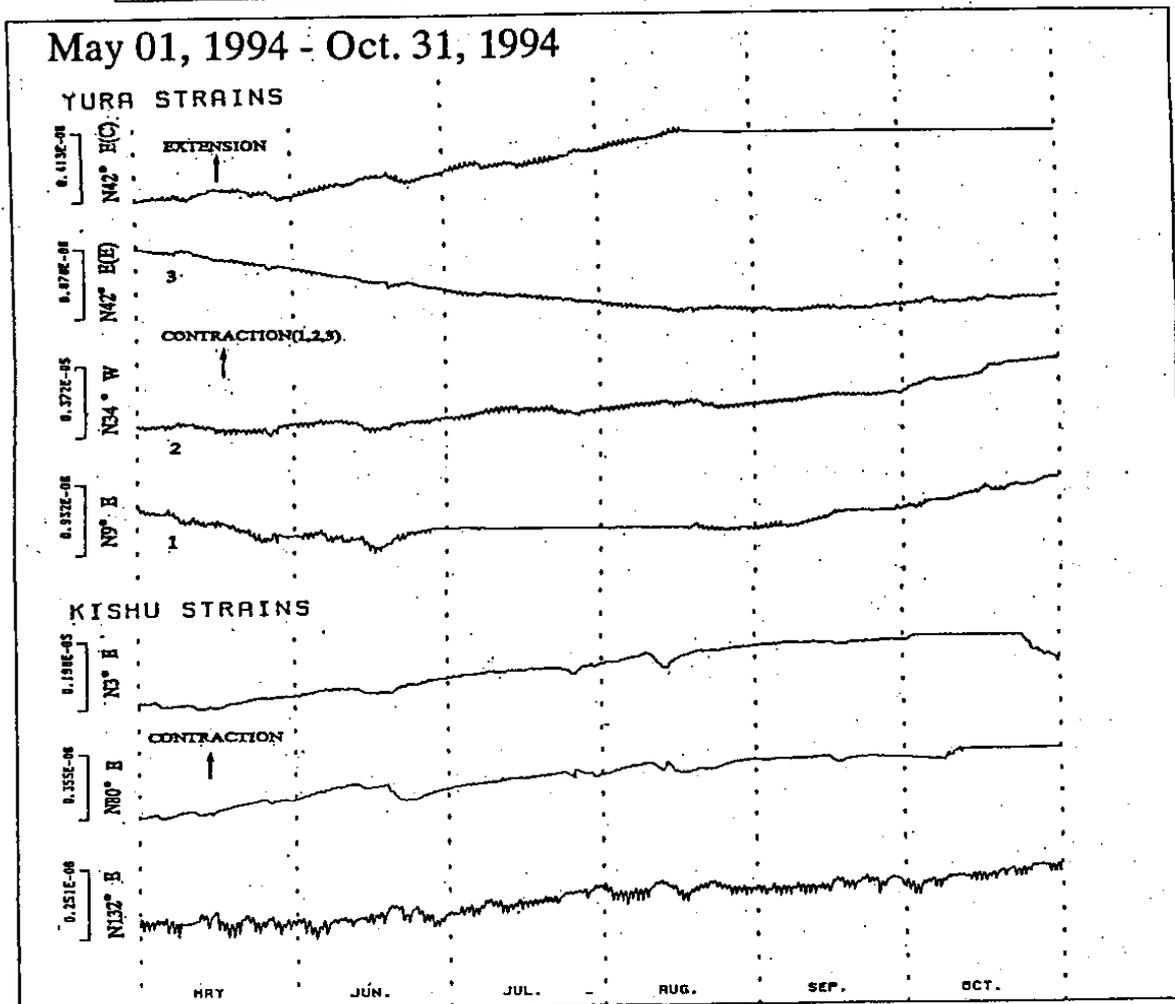
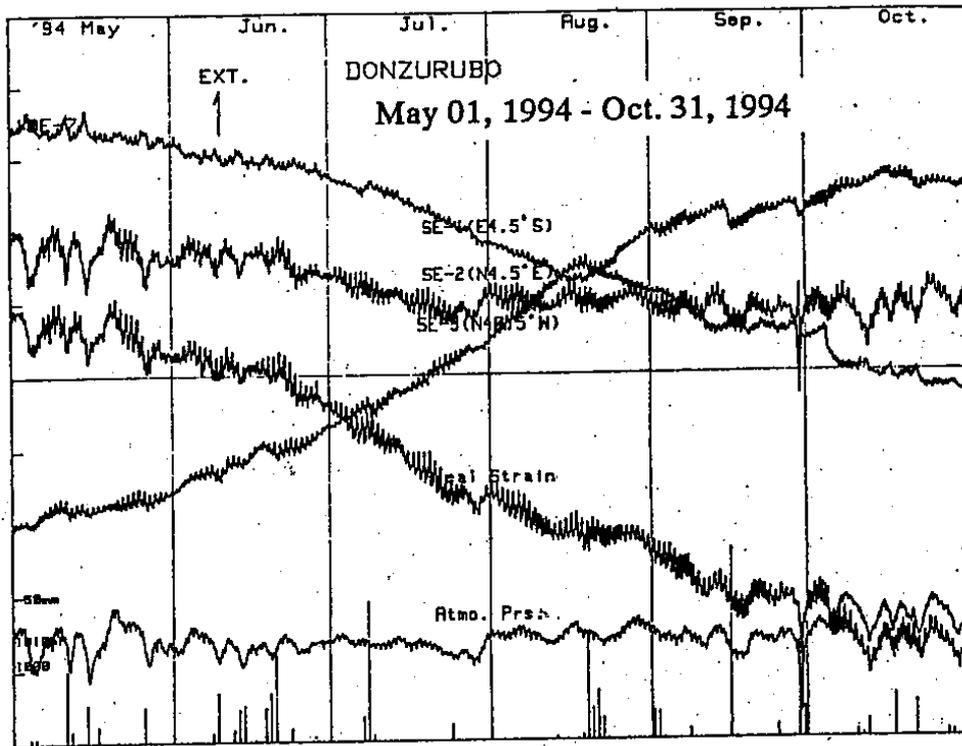
第7図 由良および紀州における傾斜変化

Fig. 7 Tilt changes at Yura and Kishu.



第 8 図 生野，六甲鶴甲，逢坂山におけるひずみ変化

Fig. 8 Strain changes at Ikuno, Rokko-Tsurukabuto and Osakayama.



第9図 屯鶴峯，由良，紀州におけるひずみ変化  
 Fig. 9 Strain changes at Donzurubo, Yura and Kishu.